

# 主要事業個別シート(第2次実施計画/H27・28年度)

ver.1.01

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	市民文化部(関支所)
	21004	まちづくり観光推進事業	室名	観光振興室
	基本施策の大綱	05:次世代を担う人づくりと歴史文化の振興	会計	01:一般会計
	基本施策	06:まちづくり観光の推進	款	07:商工費
	施策の方向	04:まちづくり観光のマネジメント	項	01:商工費
戦略プロジェクト	02:まち磨きプロジェクト	目	03:観光費	
事業予定期間	H 21 ~ H 28 年度 主な根拠法令要綱等 亀山市観光振興ビジョン、亀山市観光協会への補助金交付基準			

② 目的・概要	対象	地域の魅力に共感する市民及び来訪者
	目的	平成20年度に策定した「亀山市観光振興ビジョン」において、本市の観光は、地域と住民が主体となって、まちを楽しみ、まちで学びながら、地域資源、来訪者満足度、暮らしの環境(定住環境)の三者が調和する「まちづくり観光」を進める。
概要	「まちづくり観光」の考え方に基づき、コーディネート機能を担い、主体的に事業展開をする亀山市観光協会の運営支援を行い、市内の歴史文化資産・自然・地域特産品など地域の魅力を活かした観光を進めていく。また、地域の多彩な魅力を幅広く発信し、三重県や広域観光組織とも連携しながら、市の魅力や価値を高める活動を進め、一過性に終わらない長期的な観光振興を推進する。	

		平成27年度	平成28年度			
③ 年度別事業計画	事業内容	○亀山市観光協会の運営支援 ・観光協会の主な事業:観光案内、関宿祇園夏祭りなどの観光イベントの開催、フィルムコミッションの運営、観光情報の発信等	○亀山市観光協会の運営支援 ・観光協会の主な事業:観光案内、関宿祇園夏祭りなどの観光イベントの開催、フィルムコミッションの運営、観光情報の発信等			
		○着地型旅行商品(モデルツアー)の企画、実施 ・モデルツアーの開催 ・まちづくり観光推進アドバイザーの活用	○着地型旅行商品(モデルツアー)の企画、実施 ・モデルツアーの開催 ・まちづくり観光推進アドバイザーの活用			
	○シティプロモーションの実施 ・三重テラスの活用 等	○シティプロモーションの実施 ・三重テラスの活用 等				
	計画額	事業費	21,200千円	20,900千円		
		国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
	予算額	一般財源	21,200千円	20,900千円		
		事業費	19,877千円	18,683千円		
国庫支出金						
県支出金						
地方債						
その他						
一般財源	19,877千円	18,683千円				
期間内総事業費(H27・H28)①		42,100千円	期間外事業費(H29以降)②	0千円	総事業費 (①+②)	42,100千円

		平成27年度	平成28年度	(参考・平成29年度)
①	名称	着地型旅行商品数		
	補足	常時または期間限定で提供できる着地型旅行商品の延数	2	4
②	名称	三重テラスイベント来場者数		
	補足	三重テラスで開催する観光イベント2日間の来場者数	200	200
③	名称	三重テラスイベントリピーター数		
	補足	三重テラスで開催する観光イベントでアンケートを取り亀山市のイベントに参加したことがあると答えた人の数	10	20
④	名称	市外での観光PR回数		
	補足	市外で実施する観光PR回数。県や他団体が実施するPRイベントへの参加も含む	10	10

# 事務事業評価シート

H27(主要事業)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	市民文化部(関支所)
	21004	まちづくり観光推進事業	室名	観光振興室
	基本施策の大綱	05:次世代を担う人づくりと歴史文化の振興	財	会計 01:一般会計
	基本施策	06:まちづくり観光の推進	務	款 07:商工費
	施策の方向	04:まちづくり観光のマネジメント	科	項 01:商工費
戦略プロジェクト	02:まち磨きプロジェクト	目	目 03:観光費	

② 目的・概要	対象	地域の魅力に共感する市民及び来訪者
	目的	平成20年度に策定した「亀山市観光振興ビジョン」において、本市の観光は、地域と住民が主体となって、まちを楽しみ、まちで学びながら、地域資源、来訪者満足度、暮らしの環境(定住環境)の三者が調和する「まちづくり観光」を進める。
	概要	「まちづくり観光」の考え方にに基づき、コーディネート機能を担い、主体的に事業展開をする亀山市観光協会の運営支援を行い、市内の歴史文化資産・自然・地域特産品など地域の魅力を活かした観光を進めていく。また、地域の多彩な魅力を幅広く発信し、三重県や広域観光組織とも連携しながら、市の魅力や価値を高める活動を進め、一過性に終わらない長期的な観光振興を推進する。

			27年度	28年度	
①	名称	着地型旅行商品数	計画値	2	4
	補足	常時または期間限定で提供できる着地型旅行商品の延数	実績値	3	
②	名称	三重テラスイベント来場者数	計画値	200	200
	補足	三重テラスで開催する観光イベント2日間の来場者数	実績値	600	
③	名称	三重テラスイベントリピーター数	計画値	10	20
	補足	三重テラスで開催する観光イベントでアンケートを取り亀山市のイベントに参加したことがあると答えた人の数	実績値	8	
④	名称	市外での観光PR回数	計画値	10	10
	補足	市外で実施する観光PR回数。県や他団体が実施するPRイベントへの参加も含む	実績値	24	
			単位	商品	商品
				人	人
				回	回

年度計画				年度実績		
④ 事業の計画・実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○亀山市観光協会の運営支援                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光協会の主な事業:観光案内、閑宿祇園夏祭りなどの観光イベントの開催、フィルムコミッションの運営、観光情報の発信 等</li> </ul> </li> <li>○着地型旅行商品(モデルツアー)の企画、実施                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・モデルツアーの開催</li> <li>・まちづくり観光推進アドバイザーの活用</li> </ul> </li> <li>○シティプロモーションの実施                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・三重テラスの活用 等</li> </ul> </li> </ul>			まちづくり観光のコーディネート機能を担い、主体的に事業を実施する亀山市観光協会の運営補助を行なった。 亀山市観光協会において、映画撮影等の誘致活動を行うフィルムコミッション設立に向けた取り組みを進めた。 亀山市観光協会に委託し、生産者や事業者、市民団体等と連携し地域資源を活かしたモデルツアーを3回開催した。 首都圏営業拠点施設「三重テラス」において2回のイベントによるシティプロモーションを実施した。		
	事業費	計画額	予算額	決算額	人件費	総人件費 ① 2,275
	国庫支出金		0		一般職員人件費 ②	2,275
	県支出金		0		所要人員 ③	0.30
	地方債		0		臨時職員人件費 ④	0
	その他		0		受益者負担額 ⑤	
	一般財源	21,200	19,877	18,580	受益者負担率	0.0% ⑤ / ⑥
	再	翌年度への繰越額				
	掲	前年度からの繰越額		0		
		総人件費		①	2,275	
	総コスト		⑥	20,855		

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	観光協会が実施したイベントにより地域と住民が主体となってまちづくり観光に取組めた。特に、ひな祭りイベントは1ヶ月にわたり実施され、雛人形の展示は地域住民と連携し実施した。また、多くのメディアに取り上げられ多くの集客に繋がった。モデルツアーについては、自然薯や、鉄道遺産等の活用により地域団体との連携した取り組みにより、団体の育成に繋がり、一過性にならない観光への可能性が確認できた。三重テラスで実施したシティプロモーションについては、多くの来場者に亀山市の魅力アピールすることができ、リピーターも確認ができたことから情報発信に繋がった。	総合判定	<p style="font-size: 2em; text-align: center;">B</p> <p>まずまず進んだ</p>
	【反省点・課題】	イベント開催の効果が短期的なものになるものが多く効果も限定的になっている。 シティプロモーションにおいて、亀山市の魅力新たな視点から展開する必要がある。		
	【改善の方向性】	イベントがまちづくり観光につながるよう、集客や経済効果が一定期間、持続するような内容の検討を行なう。 シティプロモーションにおいて、東海道の歴史的側面だけではなく、亀山市の鈴鹿国定公園の自然など多彩な魅力を新たな視点から展開する。		
	事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切	最終評価確認者: 観光振興室 本間一也	